

松伏かがり火通信



～男女共同参画社会って、なあに？～

松伏町では男女共同参画の推進を図るため、平成30年9月11日（火）に、荻野裕佳里氏を講師に迎え、「男女共同参画について」人権セミナーを開催しました。昨年に続き第2弾です。

「男女共同参画社会」という言葉を聞くと、どのようなイメージを持ちますか？

❶ はじめに・・・「男女共同参画社会」に関するキーワードを集めました。

次の言葉を知っていますか？

- ☐イクメン
- ☐イクボス
- ☐カジメン
- ☐ワンオペ育児
- ☐フラリーマン
- ☐マタハラ
- ☐カジハラ
- ☐シャドーワーク
- ☐ダイバーシティ
- ☐ワーク・ライフ・バランス
- ☐M字カーブ
- ☐ガラスの天井
- ☐リケ女
- ☐STEM

(いくつ分かりましたか？ 答えは4ページに掲載しています)



△▲△ 荻野氏をご紹介します △▲△

埼玉県男女共同参画推進アドバイザー・埼玉県家庭教育アドバイザー・埼玉県ネットアドバイザー・松伏町男女共同参画推進委員でもあります。

❷ 女性の社会進出がなかなか進まないのはなぜか？

「男社会」という言葉がありますが、具体的にはどのような社会ですか？

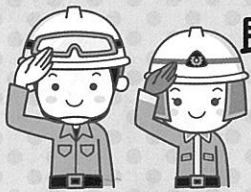
職業では、運送業・建設業・ゴミ運送業・自衛隊・警察官・政治家・歌舞伎役者などがあります。

男社会は上下関係がしっかりしている縦社会であり、結果・数字がすべてで、白黒はっきりした表現が求められ、群れで行動しないことが多いようです。

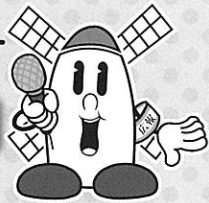
では「女社会」とは・・・

男性を縦社会だとすると、女社会は横社会と言われ、年上の先輩でも友達のような関係で付き合い、上下関係にあまりうるさくなく、グループ意識が強いようです。

男社会・女社会どちらの社会にも良い面があるはず、お互いの良さを取り入れることで、より快適な社会が出来上がるのです。今でも性別で役割や生き方を決める意識が根強く残っていますが、こうした意識や仕組みを変えていくためには、一人ひとりが“男女共同参画は自分自身の問題である”と気付くことが重要です。



民生委員＋赤十字奉仕団＋女性消防団の活動を紹介します 『子どものための救命救急と災害時非常食の試食』



『子どものための救命救急と災害時非常食の試食』

平成30年10月2日（火）松伏町中央公民館にて、松伏町民生委員・児童委員協議会主催で、町内在住の就学前のお子さんのいる保護者を対象に、松伏町赤十字奉仕団が災害時の非常食の試食と、松伏町女性消防団が心肺蘇生法・AEDの使い方を指導しました。それぞれ団体の会長が、協力して地域で何かできることはないかと、平成27年度からこの活動は始まりました。

備蓄用のアルファ米のチキンライス、梅ご飯、カップ麺、おにぎりなどを試食しました。

「通常はお湯を使いますが、災害時、お湯がない時もある、水ではどうかな？」と題して、それぞれお湯と水で作ったものを食べ比べてみました。カップ麺はお湯では3分ですが、水では20分かかります。麺は冷たいが、30分、40分経っても麺は、ふやけず美味しかったです。

（ちなみにカップ麺製造会社に確認したら、水でも健康被害はなく安心です！と確認済とのこと）



～非常食の試食～

びっくりしたのが三角のおにぎりでした！

水を入れると袋の中で△が完成、袋の指示どおり番号順に袋を切り、出て来たのは三角の△でした。みんな思わず拍手！！味も美味しかったです。

災害に備えて、非常食を試食することは大切です。

～心肺蘇生法・AEDの使い方～

救急車を呼んだ時、既に他の場所に出動している場合は、時間がかかることもあります。

救急車が到着するまでの間、消防署の指示に従い、心肺蘇生法やAEDを使って命をつなぎましょう。

【AED使用上の注意点】①体が濡れている場合はタオルなどで拭くこと。②シップは剥がすこと。③ペースメーカーの上は避けること。



参加者の感想

- ・非常食は用意しているが、食べたことはなく、子どもも食べれることがわかって良かった。
- ・前回も参加したが、毎年参加させて頂こうと思った。



主な活動内容をご紹介します

松伏町民生委員・児童委員協議会……誰もが地域社会の中で安心して暮らせる地域福祉の推進のために、高齢者の見守りを始め、生活上の相談などを通じて役場との橋渡し役をしています。

松伏町赤十字奉仕団……防災訓練に参加し、救急法や炊き出し方法の講習、災害義援金等の募金活動、赤十字事業のPRなど。平成30年度は、大韓赤十字社京畿道支社奉仕団受け入れ事業も行いました。

松伏町女性消防団（レッドエンジェルス）……幼稚園、保育園、高齢者施設などでの防災啓発劇の上演、小学校、自治会、町民への救命講習など。全国大会で表彰された最高レベルの啓発劇を上演しています。



松伏町保健センターに…

初の男性保健師が！

保健師は、9割強が女性で、男性は1割にも満たないのが実情です。業務は、乳幼児の定期健診・予防接種・発達相談のイメージですが、最近では多様化する地域ニーズに対応するため、男性保健師を採用したいと考える自治体が増えています。

平成30年4月1日採用、佐藤俊友さんを紹介します。

? なぜ？保健師を目指したか？

以前の職場で、在庫管理や生産管理などの仕事をしていましたが、従業員の健康面に着目した際に、作業環境の改善や工夫ができないもどかしさを感じていました。その時に、職業として保健師の役割を知り、目指したいと思ったのがきっかけです。

? 女性だけの保健師の中で働いてみた感想は…

働きにくいことは特にありません。看護大学で女性の多い環境で一緒に勉強する機会が多く、そうした経験が自然と女性ばかりの環境にも上手く順応できたのかもしれません。

? 困ったことは…

乳がん・子宮がん検診の時に、健康教育の時間がありますが、その説明をどこまで話したらいいのか困ります。必要なことは説明しますが、表現方法によっては、不快にさせてしまうかもしれないので、伝え方には配慮しています。



? 保健師になって嬉しかったことは…

糖尿病予防教室やハローベビー教室をやって、住民の方に理解が深まり良かったとアンケートの結果を貰ったときです。そうした意見を頂くことで励みになり、さらに良くなっていきたいと思いました。



? 保健師になって今後やりたいことは…

男性の育児の認知度は高くなってきていますが、まだまだ乳幼児健診やハローベビー教室の参加率は低いです。健康面においても、運動教室やノルディックウォーキング教室などありますが、こちらも男性の参加率は低いです。男性が、子育てができる町、健康でいられる町にしていきたいです。

○保健師は、もともと「保健婦」と呼ばれて女性のみでした。1993年（平成5年）の法改正により男性も保健師を目指すようになり名称も「保健師」として統一されました。

老若男女問わず、地域住民の健やかな暮らしを守っていくという立場においては、女性だけでなく、男性の視点も取り入れていくことは欠かせません。

女性保健師では扱いにくい相談内容を、男性保健師が積極的にフォローすることで、これまでにない成果が得られたというケースも少なくありません。

～デートDV～

DV
(ドメスティック・
バイオレンス)
とは

夫婦や恋人など親密な間柄で行われる暴力のことをいいます。
暴力には、殴ったり、蹴ったり、ひどい言葉を使うなどの種類があります。

大人だけの話
じゃない！

**デートDV
とは**

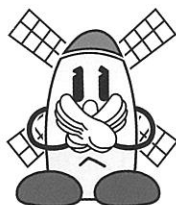
DVの中でも、恋人同士の間で暴力で相手を思いどおりにすることをデートDVと言います。
彼／彼女が好きだから
「自分だけ見ていてほしい」
「自分のことを最優先にしてほしい」
と思うかもしれません。
でも、そんな気持ちを暴力でかなえようとする
とデートDVの関係になってしまいます。

デートDVチェックリスト

あてはまる■に／をつけてみよう

彼／彼女が…

- バカにする
- どなる
- 他の人と仲良くしていると責める
- メールの返事をすぐに返さないと怒る
- メールをチェックする
- 用事があっても一緒に帰らないとキレる
- 殴ったり、蹴ったり、髪の毛を引っ張ったりする
- 無視する



☑ガースでもついたらデートDVがかもしれません。
デートDVは、相手を尊重していない行為です。

交際相手からの暴力や暴言が辛い、不安や孤独でどうしていいかわからない
悩んでいることをまずは話してみませんか・・・

◆女性相談・育児相談（要予約）◆

日 時・日曜日（第1・3・5） 午前9時30分～12時

最新の情報（曜日と時間）を確認してください

場

電 話：企画財政課 ☎991-1815 月・水・土のみ ☎991-1825

..... 表紙の正解は

- イクメン：育児を積極的に行う男性
- イクボス：育児に理解のある上司
- カジメン：家事を積極的に行う男性
- ワンオペ育児：ひとりだけでする育児
- フラリマン：まっすぐに帰宅せず、ふらふらと寄り道をしているサラリーマン
- マタハラ：働く女性が妊娠・出産をきっかけに職場で受ける嫌がらせ
- カジハラ：家事をする人（特に夫）に対しての嫌がらせ
- シャドーワーク：人目につかない家事（浴槽、排水溝掃除）
- ダイバーシティ：多様性
- ワーク・ライフ・バランス：仕事とプライベートを分ける（仕事と生活の調和）
- M字カーブ：女性の就職率が出産で下がり、その後また就職しM字になること
- ガラスの天井：ある程度まで出世するが、女性が出産・育児等でそれ以上出世できない
- リケ女：理系の女性
- STEM：女性が苦手としている分野でサイエンス（科学）・テクノロジー（技術）・エンジニアリング（工学）・マセマティックス（数学）

☆情報誌「松伏かがり火通信」について、ご意見・ご感想をお寄せください

発行／松伏町企画財政課 TEL 991-1815 FAX 991-7681 メール kizai1020300@town.matsubushi.lg.jp